



地域医療連携室だより Vol.155



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
F A X 077-522-0192 発行日:2022年4月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 所を掲載しています。ぜひ探してみてください。疾病掲載。

執拗な不定愁訴に賢く対応する ～非精神科系の診療所でできること～

精神・心療内科 診療部長: 畑 譲



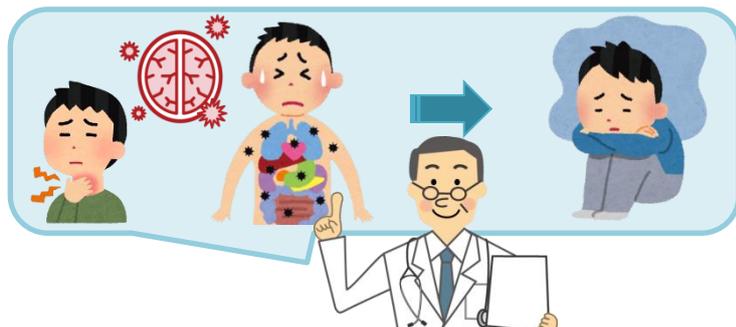
日常診療の中で、特に治療を要する異常が見つからないけれど、しきりに特定の症状にこだわって不定愁訴を繰り返す患者さんに、困られたことはないでしょうか。

今回は、不定愁訴を執拗に訴える、そんな患者さんに賢く対応する方法の一部をご紹介します。

■隠れた身体疾患の可能性

まず大切なことは「メンタルの問題を抱えた人」と簡単に決めつけないことです。

一通りの検査を行っても異常が見つからないため精神科に紹介された患者さんについて追跡調査した研究によると、「約半数の患者さんに、症状の原因となりうる身体疾患が2年以内に見つかった」ということです。私の経験でも精神疾患として紹介された患者さんの中には、甲状腺機能亢進症や脳炎の方が時々おられ、大脳皮質基底核変性症、慢性硬膜下血腫、若年者の水頭症、もやもや病、胸部大動脈瘤が見つかった方もおられます。



このように「隠れた身体疾患の可能性」は意外と大きく、当科に紹介頂く場合は「身体疾患の可能性もゼロではないが検査で異常が見つからないので、メンタルも診てもらいましょう」等との説明の上でご紹介頂けたら、患者さんも納得して抵抗なく当科を受診して頂けると思います。

■小精神療法のポイント

もし非精神科系の診療所でフォローしようと思われるのであれば、①(積極的治療対象ではないが)症状が実際に存在してつらいことを理解していると明確に伝える、②注意が身体感覚に集中してしまっていて、症状に過敏になっている可能性を説明する、③(できる範囲で)用事など目の前の事に集中し、注意を身体感覚から他に転換してみることを勧める、④症状がよくなっても患者さんと一緒になって喜ばず、今後も症状は出たり消えたりすることを伝える(また症状が出てきた時に不安にならないため)、などのポイントを押さえて診療を進めてみてください。もちろん、いつでも当科などの専門科に紹介して頂いてもいいと思います。不安が続くあまり疲弊して気力がなくなっているようなら、うつ病に至っているかもしれません。



を勧める、④症状がよくなっても患者さんと一緒になって喜ばず、今後も症状は出たり消えたりすることを伝える(また症状が出てきた時に不安にならないため)、などのポイントを押さえて診療を進めてみてください。もちろん、いつでも当科などの専門科に紹介して頂いてもいいと思います。不安が続くあまり疲弊して気力がなくなっているようなら、うつ病に至っているかもしれません。

■当院精神・心療内科の紹介患者受入体制

当院の精神・心療内科では、上記のような心気不安の強い方だけでなく、様々なメンタルの問題を抱えた方を受け入れていますので、必要でしたら遠慮なく地域医療連携室を通してご紹介下さい。ただし、もし切迫した希死念慮など入院を要する精神症状、また依存症や拒食症がある場合、当院以外の適切な専門機関へご紹介下されば、患者さんがより適切な治療に早く繋がると思います。

今後とも当院をよろしくお願い申し上げます。



輸血機能評価認定制度[I&A]を受審し、認定されました！！

～安全な輸血療法を提供いたします～

臨床検査部 主査: ^{みしま}三島 ^{よしみ}賀美

地域の先生方におかれましては、平素より大変お世話になりありがとうございます。

当院では、安全な輸血体制を維持するために、2017年に医師・看護師・臨床検査技師で構成された“チーム YUKETSU”を結成し、日々活動をしています。活動内容は、月に一度会議を行い他職種間での情報共有や毎年定期的に行っている輸血研修会の企画等を行っています。今年度も医師向けと看護師向けの実技講習会や、新採看護師向けと看護補助者向けの研修会を開催しました。また、輸血ラウンドを定期的に行い、マニュアルに沿った輸血業務が実施されているか、輸血副作用を理解して適切な対応ができているか等を監査し、必要に応じて助言しています。その後ラウンド結果をフィードバックすることにより輸血業務の安全性と質の向上に努めています。

チームYUKETSUメンバー紹介



2019年に一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会の輸血機能評価認定制度 [I&A] の受審を申請し準備を進めてきましたがコロナ禍で受審が延期となり、今年度ようやくリモートで受審することができ、無事認定されました。

輸血機能評価認定制度 [I&A] 認定証



輸血機能評価認定制度 [I&A] とは、inspection (点検) して accreditation (認証) するシステムです。各施設において、適切な輸血管理が行われているか否かを第三者によって点検し、安全を保証することであり、輸血用血液や分画製剤の適正使用を徹底することと、輸血の安全性を保証することで、より安全な輸血管理が行われていることを目指しています。

輸血機能評価認定制度 [I&A] を受審するにあたり、まずは、視察チェックリストの項目に従い院内の輸血体制を整備していきましました。今まで“チーム YUKETSU”で体制基盤を作り上げていたため、細かい要求事項を整備するのみで受審に臨むことができ、以前にも増してより安全で質の高い輸血管理体制を作ることができました。

輸血機能評価認定制度 [I&A] は5年後に再度更新のための審査が行われます。これからも現在の体制を維持していくとともに、より良い輸血医療を提供できるように、“チーム YUKETSU”で継続して活動していきますので、よろしくお願ひします。



医師の異動

本年4月より下記の医師が着任しました。ご支援よろしくお願い致します。

外科・消化器外科・乳腺外科	廣川 文鋭	産婦人科	安尾 忠浩	消化器内科	小畑 僚平
外科・消化器外科・乳腺外科	大住 涉	小児科	阪上 智俊	消化器内科	山本 哲也
外科・消化器外科・乳腺外科	駕田 修史	皮膚科	古谷 佳美	消化器内科	砥堀 恭平
外科・消化器外科・乳腺外科	深山 華子	麻酔科	石坪 昌恵	呼吸器内科	竹村 佳純
救急診療科	中田 康貴	内科	佐々木 裕二	呼吸器内科	小川 剛央
放射線科	藤本 順平	内科	日比 里歌子	呼吸器内科	榊井 太輝

本年3月末をもちまして下記の医師が退職となりました。在職中は大変お世話になりました。

法人理事長	産婦人科	北脇 城	内科	吉林 護	皮膚科	中川 弘己
外科・消化器外科・乳腺外科		光吉 明	内科	岩佐 真智子	産婦人科	高橋 良樹
外科・消化器外科・乳腺外科		藤田 覇留久	内科	竹村 堯拓	神経内科	廣田 伸之
外科・消化器外科・乳腺外科		竹島 潤	消化器内科	田中 順子	脳神経外科	中嶋 広太
外科・消化器外科・乳腺外科		市川 淳	消化器内科	高倉 駿	呼吸器外科	戸田 省吾
感染症科		大江 秀典	消化器内科	藤石 慎作	心臓血管外科	藤原 克次
感染症科		井藤 英之	呼吸器内科	平沼 修	放射線科	加藤 麻耶
小児科		松浦 周	呼吸器内科	武井 翔太	救急診療科	村西 謙太郎
小児科		藪本 佳奈子	呼吸器内科	永谷 浩平	病理診断科	濱田 新七

入退院センターが あたらしくなりました

いつもお世話になっております。

2月7日より行っておりました入退院センターのリニューアル工事が完了し、3月14日より業務を開始しております。

退院支援相談員に関するお電話や入院時情報提供書、看護サマリー等入退院に関することは下記電話番号・FAX番号へお願いいたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

入退院センター業務内容

- ☆病床管理・・・入院患者のベッドコントロール
- ☆入院支援・・・入院生活に関するオリエンテーション等
- ☆退院支援・・・計画的な退院支援の調整

TEL:077-526-8340/FAX:077-526-5375



正面入口



待合スペース



聞き取りブース

ご紹介患者様受付に関する
ことは地域医療連携室へ

TEL:077-526-8192
FAX:077-522-0192

